

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：五十嵐 修太

書いた日：2024年2月14日

皆さん、こんにちは！今月のコラム担当の五十嵐です。私の職場は岩手県の遠野市にありますが、例年では考えられないほどに雪がありません！毎年この時期は路面の氷にビクビクしながらハンドルを握っておりましたが、今年はゆったり運転することが出来ております。

岩手県ではコロナやインフルエンザが猛威を振るっているようです。皆様も体調管理には十分に気を付けていただければと思います。

岩手県の特別支援に携わっている作業療法士の中には、発達領域を専門としていない作業療法士も多くおります。私も作業療法士として働き始めて7、8年程になりますが、少しずつ特別支援や小児の分野について勉強や見学で関わらせていただいております。

最初は、私がこの分野に入って行けるだろうかとか、先輩スタッフのように出来るだろうかという不安がありました。ですが、岩崎先生の著書「発達障害の作業療法」には、「治療にマニュアルのようなガイドはないが、しかしこのことは、作業療法士それぞれの個性を生かしながら、誰もが自分流の作業療法を作り得る可能性を秘めている」とあり、少し勇気をもらいました。

まだ発達領域の分野について勉強中の段階ですが、学校に関わるという事の雰囲気は少し感じる事が出来ました。とにかく、学校の先生方の「まずやってみよう！どうしたら良いか分からない時は聞いてやってみよう！」という姿勢にとっても感銘を受け、見習わなくては！と感じました。他にも、生徒たちの何事に対しても一生懸命に取り組む様子を見て、少し感動してしまいました(笑)

私たちこども委員会では、毎年フォーラムや研修会を開催しております。2月末にも「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会—基礎編—」を開催予定です。発達領域に興味のある方はぜひ参加していただければと思います。

来月で今年度は最後のコラムとなります。今後ともよろしくお願いたします。

(一社)岩手県作業療法士会 主催

学校を理解して支援ができる

作業療法士の育成研修会 —基礎編—



近年、特別支援教育分野から作業療法士へのニーズは高まっており、県内においても特別支援学校への介入も増加傾向にあります。本研修は、異業種が子どものために力を出し合えるような関係作りを目指し、教育分野を理解して協働できるようになるための、人材育成を目的とした研修会です。



【日時】1日目 令和6年2月24日(土)13:00~18:00
2日目 令和6年2月25日(日)13:00~17:50

※両日とも受付開始 12:30~

【開催方法】対面形式(アイーナ会議室602)・オンライン形式(zoom)のハイブリッド開催。
会場の収容人数に限りがございます。対面形式での参加をご希望頂いた方にオンラインでの参加をお願いする場合がございますので、ご了承ください。オンライン形式では、PCでの参加を推奨します。

【対象】作業療法士

【講師】熊谷佳展先生(岩手県教育委員会事務局 学校教育室 特別支援教育担当 指導主事)
本山敏祐先生(岩手大学教育学部 学校教育科准教授)
吉岡和哉先生(群馬/ハース大学)
中山雄介先生(奥州療育病院)
先成聖先生(やまびこ医療福祉センター)

